

コミュニケーションロボット「BOCCO」を活用した 介護福祉施設向け新サービスの実証について

別紙

1. 実証の目的

- 東北・新潟エリアにおいても進展する高齢化社会の諸課題に対応する、I o Tなどの新たな情報技術を活用し課題解決を図る、新サービスの開発に向けた検討を4者が連携して行う。
- ・ 実証内容：BOCCOを活用した介護福祉施設向け新サービスの利便性や実用化に向けた課題等の検証
- ・ 実証場所：社会福祉法人 東北福祉会「せんだんの里」（特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、グループホーム）
- ・ 実証期間：2019年7月1日～2019年9月末（予定）

社会福祉法人 東北福祉会
せんだんの里

実証環境（介護福祉施設）の提供

※ 東北福祉大学の関連法人

UNISYS

サービス検討・システム開発

より、そう、ちから。
東北電力

サービス検討・提供・検証

・Y・U・K・A・I・
・E・N・G・I・N・E・E・R・I・N・G・

機材提供



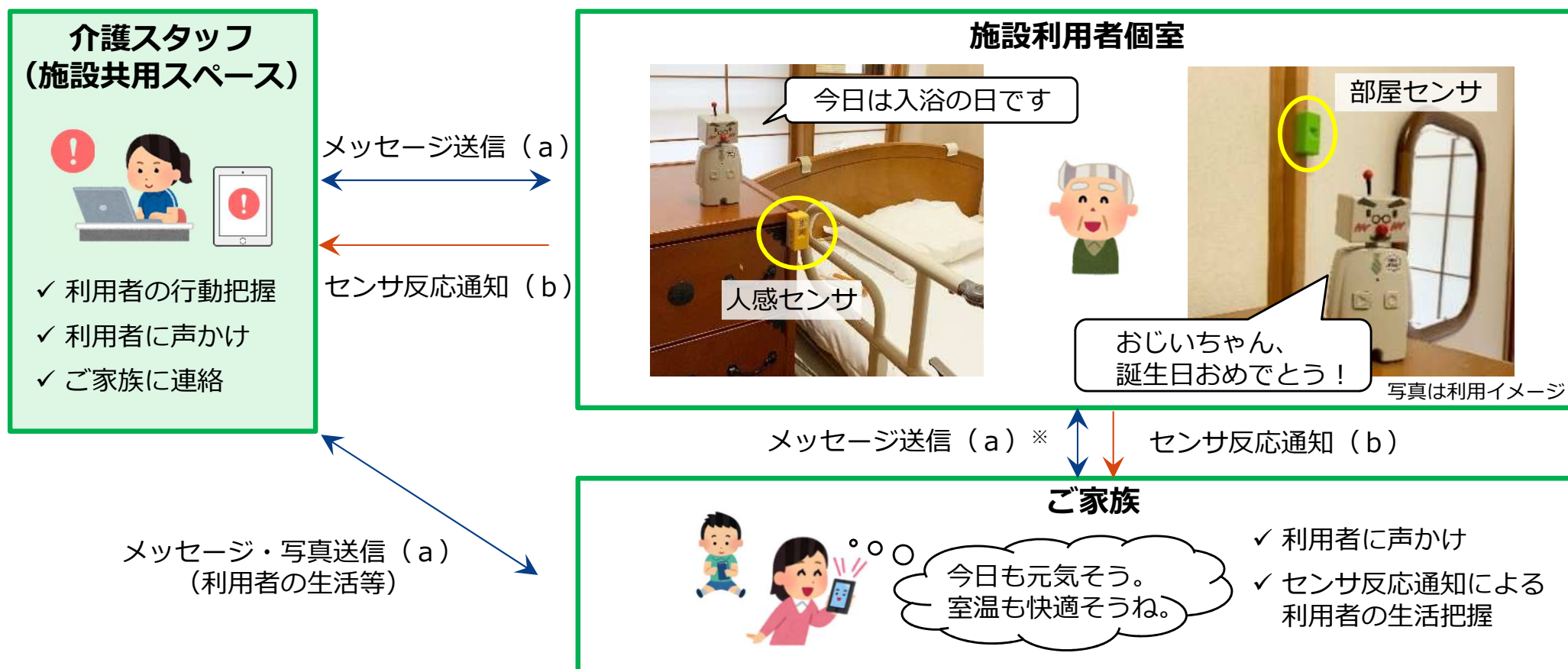
【BOCCOとは】

- ・「ユカイ工学株式会社」が開発したコミュニケーションロボット。各種センサが感知した情報に基づきBOCCOが自動で発話したり、スマートフォン（専用アプリ）により、離れた家族とメッセージをやり取りすることが可能。
- ・東北電力は、2018年7月よりBOCCOを活用した家庭向けサービスの検証「よりそうスマートプロジェクト」を実施している。

2. 検証するサービス① BOCCOを活用した「コミュニケーションサポート」

- BOCCOを施設利用者の個室に設置し、新たに開発した3者間のコミュニケーション機能（a）※により、施設利用者のご家族、介護スタッフ間相互の円滑なコミュニケーションをサポートするとともに、センサ機能により、施設利用者の状況や行動をご家族と介護スタッフに通知（b）することで、生活状況の把握をサポートできるか検証する。

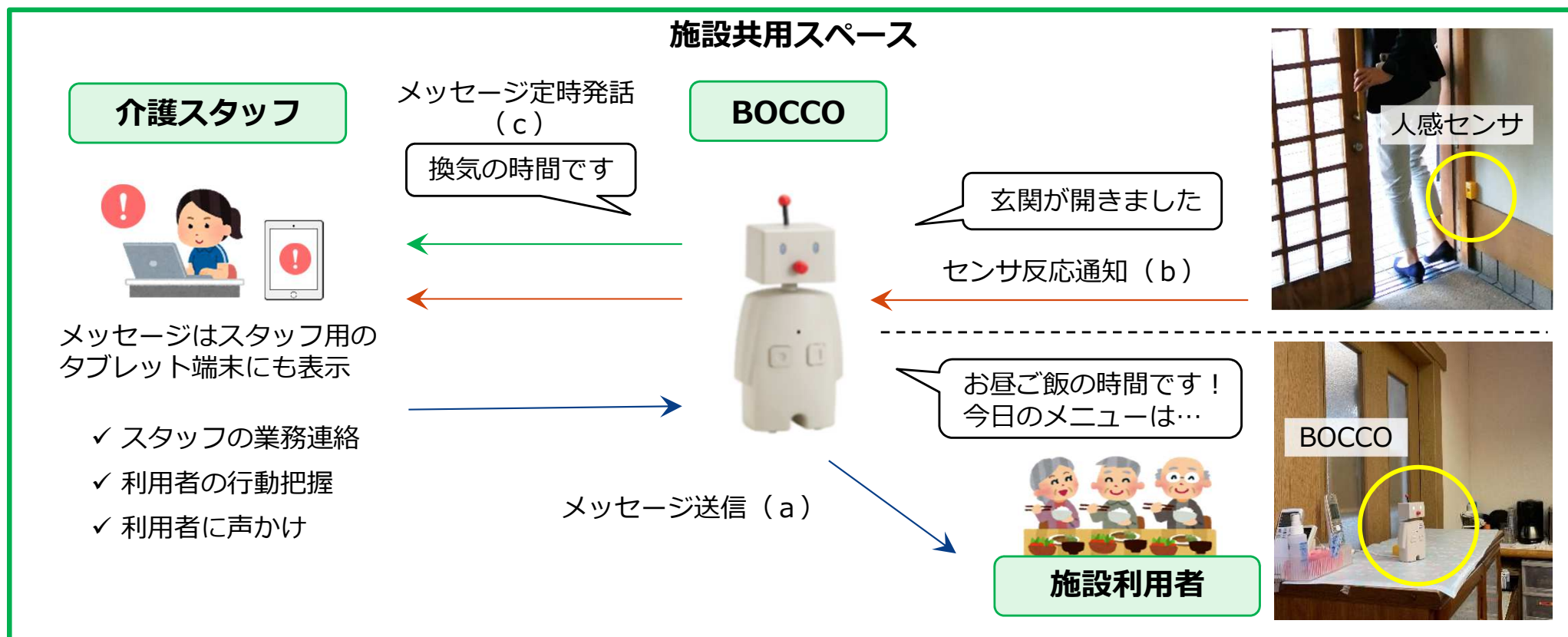
※施設利用者のご家族間のメッセージ送信はBOCCOの標準機能を活用



離れて暮らす「ご家族と施設利用者とのコミュニケーション」に加え、施設利用者のそばにいる「介護スタッフとご家族とのコミュニケーションのサポート効果」を期待

3. 検証するサービス② BOCCOを活用した「介護スタッフの業務効率化サポート」

- BOCCOを介護福祉施設の共用スペースに設置し、コミュニケーション機能を活用した施設利用者への声かけ（a）や、センサによるお知らせ機能による施設利用者の行動把握（b）、定時発話機能の業務連絡への活用（c）など、介護スタッフの業務効率化のサポートが可能か検証を行う。



さまざまな業務を進めながら施設利用者の様子を把握する必要がある
「**介護スタッフの負担軽減につながるサポート効果**」を期待

4. スケジュール

- 2019年7月1日から2019年9月末までの3カ月間で実証を行う。本実証で得られた知見やノウハウを活用し、介護福祉施設向けの新たなサービスの開発・充実に取り組む。

2019年7月1日

2019年9月末（予定）

- ・実フィールドでの実証
- ・ニーズ調査

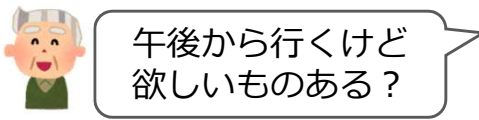
- ・ニーズを踏まえたサービス改善
- ・実用化に向けた検討

（参考）BOCCOの基本機能

コミュニケーション

- スマートフォンからBOCCOにメッセージを送信

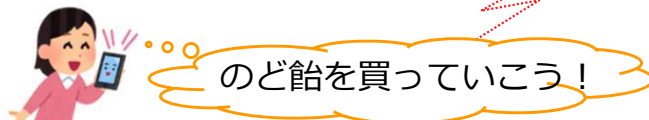
BOCCOがメッセージを発話



- BOCCOにメッセージを録音

のど飴が欲しいな。

BOCCOがスマートフォンにメッセージを送信



定時発話

- あらかじめ発話内容を登録



■ 日時
2019/4/10 9:00

■ メッセージ
今日は〇〇ちゃんの
入学式だよ！

指定日時にBOCCOがメッセージを発話



2019/4/10 9:00

今日は〇〇ちゃんの
入学式だよ！

今度お祝いしないと！

センサお知らせ

- 各種センサが反応



振動センサ

設置したものが動いたら反応



人感センサ

センサの前に人を検知したら反応



部屋センサ

部屋の温度・湿度・明るさを取得

スマートフォンに通知

2019/4/12 8:30
〇〇さんの部屋の
ドアが開きました

